

研究タイトル：

国際交流を通じたグローバル人材育成



氏名：	松田 安隆/MATSUDA Yasutaka	E-mail：	matsuda@akashi.ac.jp
職名：	教授	学位：	修士(教育学)
所属学会・協会：	日本英文学会, 全国高等専門学校英語教育学会		
キーワード：	英語教育学, 異文化理解, グローバル人材育成		
技術相談 提供可能技術：	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力の向上 ・国際交流の推進 ・異文化理解教育 		

研究内容： 国際交流を通じたグローバル人材育成

グローバル化の進展により、あらゆるものが国境を超えて移動する時代となっている。このことは我が国の経済や産業活動に多大な影響を与えているところである。高等教育機関はこのような社会情勢に対応するため、学生教育の在り方や方法等について新たな方策を検討することが必要であり、特に国際社会で活躍できる人材の育成を考慮した教育プログラムの開発と推進が緊急かつ重要な課題となっている。そのためには中長期的な視点に立ち、日本人が海外に出かけて現地の人と交流したり海外からの訪問者を迎え入れて交流したりすることで国際性を向上させるとともに日本人としてのアイデンティティと幅広い教養を身につける必要がある。

本取組では、海外の高等機関との相互交流や海外企業でのインターンシップ、国際会議での発表を通して学生の国際性の向上を図るとともに、高専のグローバル化を進めることでグローバルな視点を持ちながら地域社会の活性化にも貢献できるグローバルエンジニアを育成することを進めていき、その実効性を検討していくものである。

我々は、カリフォルニア大学アーバイン校(アメリカ合衆国)、リオ・グランデ・ド・スー国立大学(ブラジル)、ディポネゴロ大学、ガジャ・マダ大学(インドネシア)、ホーチミン市工科大学(ベトナム)と交流協定を締結し、海外の教育機関との交流を展開している。また、高専機構が包括交流協定を締結しているシンガポール、香港、タイ、台湾、マレーシア、インドネシアの教育機関との交流や機構が協定を結んでいる海外の日本企業におけるインターンシップも実施している。さらに高専機構、豊橋技科大、長岡技科大の三機関連携による協働教育改革においてもグローバルで活躍する技術者養成の取組が進められようとしている。これら諸々の取組の実践を通じてより高度な教育プログラムの策定を検討していく。

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	